

### ケース 7.3 中東・北アフリカの難民と難民政策に影響を与えた主要なできごと（1990-2003年）

中東・北アフリカは世界でもっとも不安定な地域といつてよい。続発する紛争は、大量の難民を発生させている。そして、大量難民の存在が、新たな紛争の火種となっている。

発生時期	地域	出来事	影響
1980年代-現在	スーダン	国内紛争	出国者と避難民発生
1990-1991年	全地域	第1次湾岸危機	大量避難民発生
1991年	ソマリア	政権交替	外国人の本国送還
1991-現在	レバノン	内戦の終焉	国内移住と国内避難民の発生
1991-2003年	イラク	政権批判者の抑圧・制裁	出国者の発生
1991-1995年	旧ユーゴスラヴィア	内戦	近隣地域への難民
1992-現在	ソマリア	国内不安と紛争	避難民発生
1993年	エチオピア	政権交替	避難民発生
1993年	イスラエル/パレスチナ	和平プロセス	地域の難民問題対応への環境向上
1994年	イエメン	内戦	避難民発生
1995年	エジプト/スーダン	エジプト大統領暗殺計画発覚	スーダン国民にエジプト入国へのヴィザ取得条件が追加される
1997年	全地域	ヨーロッパでのシェンゲン協定発効	ヨーロッパへの移民の抑止効果発生
1997年	イラク/トルコ	イラク北部をトルコが攻撃	クルド民族避難民発生
1998年	イラク	国連査察問題危機	出国者増加
1998-2000年	エチオピア/エリトリア	二国間国境紛争	避難民発生
1998-2001年	アフガニスタン	タリバン政権の誕生	出国者増加
1998年	トルコ/シリア	二国間関係緊張と危機	シリアからのトルコ・クルド人の出国
2000-現在	イスラエル/パレスチナ	和平プロセスの崩壊	難民問題解決への見通しと環境の悪化
2001年	全地域	9.11同時多発テロ攻撃	第3国定住の停滞
2001年	アフガニスタン	タリバン政権の崩壊	局地的避難民発生と避難民の一部の帰還

ケース 7.3 中東・北アフリカの難民と難民政策に影響を与えた主要なできごと（1990-2003年）

2003-2007年	イラク	アメリカ主導の多国籍軍によるイラク侵攻とフセイン政権崩壊後の暴力の連鎖	国内・海外への大量難民と避難民の発生
------------	-----	-------------------------------------	--------------------

出典) Zaiotti, 2005, pp. 58-59.

【参照文献】

Zaiotti, R. (2005) "From Engagement to Deadlock: A Regional Analysis of Refugee Policies in the Middle East between the two 'Gulf Crises' (1990-2003)" in H. Jaber and F. Metral, eds, *Mondes en mouvements: Migrants et migrations au Moyen-Orient au tournant du XXIe siècle*, (Beyrouth: Institut Farncais du Proche-Orient), 37-59.